

高齢者の保健事業のあり方検討ワーキンググループ作業チーム（第1回）	
平成28年9月14日（水）	資料7

ヒアリングシート（案）

【フェイスシート】

広域連合名		
市町村名		
事業開始年度	平成（　　）年度	
※取組の対象に○ (複数回答可)	1 栄養指導	4 重症化予防
	2-1 口腔（歯科指導）	5 複合モデル
	2-2 口腔（訪問歯科健診）	6 包括的アセスメント
	3 服薬指導	7 研修
※主な検討事項に○ (複数回答可)	1 対象者の選定	3 連携・調整方法
	2 介入方法	4 効果検証
取組の背景・経緯、課題等		
類似事業の内容 (新規or組換)		

※平成27年度からの継続事業の場合

○平成27年度事業からの変更点 ・実施体制 ・実施内容 ・対象者	
---	--

【テーマ1：実施計画・取組状況】

	現状（準備できていること）	課題（難しいと感じていること）
○進捗管理シートのチェック		
○健康課題の把握と目標設定 ・健康課題の把握方法 ・目標設定の考え方 ・健康課題の把握や目標設定に活用したデータ等		
○対象者の把握方法 ・具体的な抽出基準 ・基準設定の考え方		
○介入方法の具体的方法 ・アセスメント方法 ・指導機関や指導回数、指導内容等の内容 ・健診（歯科健診）結果等から、支援の必要な者へのフォローの実施。		

【テーマ2：事業評価に向けた準備】

	現状（準備できていること）	課題（難しいと感じていること）
○目標達成のための指標の設定 ・具体的なモニタリング指標 ・指標設定の考え方・視点		
○事業評価の方法 ・具体的な評価方法 ・評価における考え方・視点		
○事業評価のための指標の設定 ・具体的な評価指標 ・基準設定の考え方		
○（アウトカム評価を実施する場合） 介入した人と事業対象となりながら介入できなかつた人（結果的な対照群）との比較可能性 ・1年後以降のレセプトや介護データを活用した介入群・（結果的）対照群の追跡方法		
○国への報告のための指標の収集 ・指標収集の時期と方法		

【テーマ3：モデル事業の実施体制づくり】

	現状（準備できていること）	課題（難しいと感じていること）
○広域連合と市町村の調整 ・健康課題の把握 ・対象者の検討 ・予算 ・担当者の相談等（チーム形成） ・介入方法の検討		
○市町村庁内の体制① ・広域連合との調整窓口 ・実施部署と担当者（専門職名、人数等） ・マンパワー確保のための工夫		
○市町村庁内の体制② ・介護予防担当部署との調整状況と課題 ・国保担当部署との調整状況と課題 ・衛生担当部署との調整状況と課題		

【テーマ4：医師会等関係者との調整】

	現状（準備できていること）	課題（難しいと感じていること）
○栄養士会等との連携・調整状況と課題 ・事業メニュー別の連携・調整状況と課題		
○歯科医師会や歯科衛生士会等との連携・調整状況と課題 ・事業メニュー別の連携・調整状況と課題		
○薬剤師会等との連携・調整状況と課題 ・事業メニュー別の連携・調整状況と課題		
○医師会及びかかりつけ医との連携・調整状況と課題		
○地域包括支援センターやケアマネジャー等、介護関係者との連携・調整状況と課題		
○関係団体の支援 ・事業を進める際の支援への期待、要望等		

※ 上段3つは、取組内容に対応した関係者欄に記載ください。